

三重県の医療政策

藤田 泰樹 議員
(新政みえ/四日市市選出)

問

がん治療については、**⑤**がん診療連携拠点病院の整備を進めており、中核となる三重大学医学部附属病院を含め5つの病院が指定されています。

しかし、がん治療の専門的な知識を持つ医師などの医療人材は拠点病院においても、充実しているとはいえない状況です。拠点病院の機能強化は重要な施策だと考えますが、どのように進めるのかお聞かせください。



答

三重大学では、がん治療の第一線で活躍する医師等の専門人材を養成する「がんプロフェッショナル養成プラン」をスタートさせました。

県も、がん治療に携わる人材の育成を支援するため、医師が研修に派遣される場合に代替職員の人件費補助などの支援を行っています。今後も大学や各拠点病院と連携し、取り組みを充実させていきたいと考えています。

○その他の質問事項 ほか

各種選挙における投票済証の交付

中川 康洋 議員
(公明党/四日市市選出)

問

選挙における投票済証を、本人だけでなく家族の分まで提出を求める団体があると聞いています。これは、投票の秘密や自由選挙の侵害の恐れがあるのではないのでしょうか。各市町の選挙管理委員会での実態を把握し、助言を行うべきです。

答

投票済証の交付にかかる実態について、市町選挙管理委員会への有権者からの要望や意見等を十分に把握し検討したうえで、状況に応じ助言などを行っていききたいと考えています。

大企業・大銀行応援の政治でなく 県民の雇用とくらしを守れ

萩原 量吉 議員
(日本共産党三重県議団/四日市市選出)

問

金融・経済破綻で、大企業でも非正規労働者の雇い止めが広がっています。その実態を調査するとともに、少なくとも県が補助金を出している企業には、雇い止めなど一方的な解雇をしないよう申し入れる考えはないか見解を伺います。

答

産業集積への補助金について、常用・非常用を含む従事者数を確認することは、関連企業数や労働形態が多岐にわたることから困難です。

用語解説

「知症サポーター養成講座」を受講した方。

① 情緒障害児短期治療施設

虐待および家庭や学校での人間関係等が原因となつて感情面から生活に支障をきたし、社会生活が困難になつている児童について、短期間の入所または保護者のもとからの通所により、心理的治療および生活指導を行い、児童の社会的適応力を回復し、健全な社会生活を営めるよう支援を行う施設。

② 家庭医療

わが国ではまだ明確な定義がありませんが、疾病臓器など医学的技術の専門性にとらわれず、患者の家庭や地域社会との関係を念頭に置きながら、患者を総合的に診療する医療。

③ 認知症サポーター

認知症の正しい知識を持ち、認知症の人や家族を見守る応援者。市町等が行う「認

④ DV(ドメスティックバ イオレンス)・デートDV

配偶者や恋人など、親密な関係にある、またはあつた者から受ける身体的、精神的な暴力などのこと。このうち、交際相手からのDVを指して「デートDV」という。

⑤ がん診療連携拠点病院

がん診療の地域格差をなくし、質の高いがん医療を提供するとともに、各地域においてがん診療連携を推進するための中核となる病院。

